

令和元年度 第10回全体庁議（11月11日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(15) 帯広市ばんえい競馬運営ビジョン（原案）について〔農政部〕
----	-------	--------------	-----------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

平成24年にばんえい競馬の中長期的な経営改善の方策や収支見直しなど示した「帯広市ばんえい競馬運営ビジョン」を策定し、ばんえい競馬の安定的な継続開催に向けて取り組みを進めてきた。
この度、帯広市ばんえい競馬運営ビジョン(原案)をとりまとめたため、令和元年11月22日の産業経済委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

帯広市ばんえい競馬運営ビジョン(原案)

帯広市ばんえい競馬運営ビジョンは、帯広市ばんえい競馬運営ビジョン検討委員会から提出された提言を踏まえ、策定したものであるため骨格の部分は変えていないもの。

令和2年から令和4年までの収支試算の見直し、各種統計データの更新とこれまでの取り組みの状況や今後の具体的な取り組みの整理が主な見直しとなる。

1 全国の公営競技の現況

全国の公営競技の現況については、中央競馬や地方競馬などの売り上げ状況を記載しており、それぞれ過去の売り上げのピークに対して回復状況となっていること等を記載。

2 ばんえい競馬の概況

4ページ上の施設概要では平成30年度以降、スタンドの耐震補強や施設内の改修などについて新たに加筆。5ページ農用馬の生産状況については平成28年から横ばいとなっており、減少に一定の歯止めがかかってきたことを記載。

3 ばんえい競馬の果たしている役割

(2)地域への貢献の部分では、平成30年度の売り上げも好調であり、関係者の雇用の確保や入場者数の増加していることから、地域に与える効果はさらに増していると記載。

4 ばんえい競馬運営と現状の課題

(1)勝馬投票券発売額、本場入場者数の推移では、単独開催が始まった平成19年度と比較し平成30年度の発売額が188%の増加となっており入場者数についても5万2千人増加となっていることを記載。10ページ(2)経営状況では積極的な情報発信やナイター開催の増などにより平成25年度から6年連続で黒字になっていることを記載。12ページ(3)これまでの運営改善等の主な取り組みについては、①発売額の向上、②ファンサービスの向上、14ページの③経費の削減、④競走馬確保への取り組みについて平成28年度以降実施してきたものを記載。

(4)運営改善の成果と課題については、ナイター開催を実施する主催者が増えていることや本場・直営場外の発売額の減少傾向が続いていることを記載。

5 今後のばんえい競馬の展開方策

発売額の増加に向けた取り組みや老朽化した施設・設備の更新や改修、競走馬の確保について地方競馬活性化計画の取り組みに基づき実施していくとともに、厩務員等競馬関係者の人材確保にも取り組み、安定した競馬を継続していくことを記載。16ページ(2)具体的な取り組みとして、①収入の増加・確保策では、レース体系の整備や見直しを行い、魅力あるレース番組づくりを図るなど売り上げ増加につながる施策を記載。17ページ②徹底したコスト削減では、キャッシュレス投票機の導入、場内のLED化について検討することを記載。④観光資源としての活用策は、VRコーナーの新設や体験型メニューやイベントを増やしていくことを記載。⑤市民理解の醸成では、〇の6番目において、収益金の一部を地域振興に活用することを記載。19ページには、新たに⑦として施設整備及び環境整備について今後進めて行く主な事業を記載。

(3)収支見直しは、令和2年度の予算編成後、帯広市ばんえい競馬運営ビジョン(案)策定時に記載し、2月に報告するもの。

■ 今後のスケジュール

- ・ 令和元年11月22日（金） 帯広市ばんえい競馬運営ビジョン原案を産業経済委員会へ報告
- ・ 令和2年2月 帯広市ばんえい競馬運営ビジョン案を作成、産業経済委員会へ報告
- ・ 令和2年3月 帯広市ばんえい競馬運営ビジョン策定

■ 審議結果

- ・ 同内容で、11月22日産業経済委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし